長文を読むための滑舌トレーニング（ムラーラミュージックオフィス）

■文中に平仮名が並んでいて区切りがよくわからなくなってしまう文章

１おださんがさんぽをしてさんぽさがってまたまがりかどをまがったばあいのそっけないたどをなにげなくいしきしたときのこうつうじじょう

２くんれんをくんれんともおもわないなんてなにげないとっくんのせいかをいしきしたらもうなにもてだしができなくなってしまうということなのだ。

３かつぜつのれんしゅうをかつどんをたべながらおこなうということのじゅうようせいをいつもいしきしているとたいへんなことだということもりかいしがない。

※文章に全く意味はありません。とにかく、平仮名中のどこで文章が区切られて、流れていくのか目で訓練するためのトレーニング法です。

■滑舌しづらい音のトレーニング

ナラナラナラダラダラダラかんだたかんだた　そろそらそろそら

つけにゅけにゅこにゅけりゅけりゅまりゅにゅりゅにょ

木下が機能したら昨日の記憶のみは脳裏に焼き付いているから知らないとは言わせない。

かきゅかきゅかきゅかきゅりゅうりょうりゅうりょうりょうきてき